

令和5年度
当初
予算
特別号

広報

このまちを、もっと好きになる

ふくちやま

Fukuchiyama City Public Relations

令和5年度の
当初予算を
お知らせします!

幸せを生きる まち・暮らし
実現への飛躍予算

写真：雲原地区のミツマタ群生地

ミツマタは紙幣の原料としても知られ、花言葉は「強靱、
壮健」。3月から4月ごろに三又に分かれた枝先に黄色い花
を咲かせ、芳醇な甘い香りを漂わせます。

令和5年度予算を
もっと詳しく知りたい人へ

令和5年度当初予算の概要や各事業の詳細をホームページで公開しています。右の二次元バーコードからご覧ください。



まちづくり構想 福知山を
もっと詳しく知りたい人へ

本市のまちづくりの指針「まちづくり構想 福知山」の詳細は、市ホームページで。右の二次元バーコードからご覧ください。



誰ひとり取り残さずにとともに幸せを生きていくために

全ての世代の人が 幸せを実感できる 暮らしを応援

「まちづくり構想 福知山」の取り組みを本格化 幸せを生きる まち・暮らし 実現への飛躍予算

令和5年度の当初予算は、本市のまちづくりの基本的な指針「まちづくり構想 福知山」でめざす「市民が幸せを生きるための将来像」の実現に向け、子育て・教育・福祉・環境・産業などあらゆる分野に積極的に取り組めます。

デジタルツールを活用したスマートな社会への対応、脱炭素や森林整備など環境問題への対策、子どもたち一人ひとりに合わせた多様な学びの機会づくりなど、誰ひとり取り残さず、市民が幸せを生きるまち・暮らしの実現に向けて、取り組んでいきます。

固財政課 (☎24-7035・FAX23-6537)

予算
拡充

中学生までの医療費が200円／月に 妊娠・出産・子育てへの伴走型で支援

予算額
2億4901万円

令和5年9月から、安心して医療を受けられるよう、子どもの医療費助成を拡充します。
また、出産子育て応援交付金の支給を継続し、妊娠・出産・子育てを伴走型で支援します。

- 3歳から中学生までの入院外医療費の自己負担が1医療機関1か月につき200円に
- 高校生の入院費用の自己負担が1医療機関1か月につき200円に
- 出産・子育て支援として計10万円を支給
- 出産・子育ての相談体制を充実

◇拡充後の子ども医療費助成の内容

区分	拡充後の自己負担額		
入院	対象年齢	中学3年生まで	高校生
	自己負担	200円/月	200円/月 (超える部分は償還払)
入院外	対象年齢	小学6年生まで	中学生
	自己負担	200円/月	200円/月 1500円/月を超える部分は償還払



予算
拡充

誰ひとり取り残さず、 子どもたちの多様な学びを支援

予算額
3360万円

コロナ禍による休校・出席停止などにより、子どもたちの学力の定着にも影響していることが懸念されています。また、本市における不登校児童生徒数は、全国や京都府と同様に高い出現傾向にあることが分かっています。

学校や家庭の課題は複雑・多様であり、一人ひとりの状況に寄り添った多様な学び方の支援が必要です。教育と福祉保健の連携をさらに発展させ、子どもたちの多様な学びの場を学校の内外に用意し、支援を強化します。

- ヤングケアラーや不登校に関する相談機能を強化
- 子どもたちが自己実現に向けて活動できる居場所を福知山駅周辺に新たに設置
- 学校に行きづらいている子どもたちに寄り添う「けやき広場」を拡充
- 市立学校2校に、教室に入りづらいている児童生徒に寄り添う「アナザークラス」を開設
- 読み書きに困難さを抱える児童に、個別最適化された学習支援ソフトを導入し、学習を支援



誰もが健康で 生きがいを持てるまちに

予算額 **3026万円**

アクティブ（活動的・能動的）でウェルビーイング（身体的・精神的・社会的な充足感に満ちた状態）なまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民団体や民間企業と協働し、市民の運動やスポーツなどの気運づくりに引き続き取り組みます。また、福知山市の特徴的な健康課題の一つである高血圧症の予防について、幅広い年代を対象に取り組みを進めます。

さらに、市民の皆さんが生涯スポーツを実践できるよう、健康づくりや生きがいづくりのきっかけとなる機会の創出に取り組みます。



アクティブシティの実現に向けて

- オリジナルアプリ「福知山^{ケンポス}KENPOΣ」を活用した取り組み
- 本市出身の北京オリンピック女子マラソンランナー・中村友梨香さんをアクティブシティアドバイザー（仮称）に任命し、ランニング教室などを実施
- 講座やキャンペーンを通して幅広い年代に向けて高血圧予防を啓発
- プロスポーツ選手を招き、市民スポーツ体験会を開催
- 市民の新温水プール（NSI福知山スイミングスクール）利用料金を一部補助

予算 拡充

高齢者が地域と関わりながら 生き生きと暮らせる環境づくり

予算額
5410万円

コロナ禍により地域での社会活動が低迷し、外出機会が減少したことで、フレイル（虚弱）予備群の高齢者が増えていると予測されます。地域活動への参加や生きがいづくりなどの外出を通して、健康で生き生きと暮らし続けられるよう、高齢者の外出を支援します。

令和5年8月から実施する共通乗車券は、従来の敬老乗車券よりも利用できる交通機関が増加します。これに伴い、敬老乗車券は7月で事業を終了します。

共通乗車券の内容	
対象者	運転免許証を持っていない75歳以上の高齢者
利用できる交通機関	市バス、京都丹後鉄道、タクシー、自家用有償運送など
額面	令和5年度 4,000円/年 令和6年度～ 6,000円/年

- 運転免許証を持っていない75歳以上の高齢者に、タクシー乗車などにも利用できる共通乗車券4,000円分を無料配布
- 移動手段に自家用車が欠かせない70歳以上の高齢者に、一定条件のもと、安全機能付きサポートカー購入を補助
- 敬老会開催のみでなく、高齢者福祉の充実につながる自主的な地域活動への支援に拡充
- 敬老の祝品贈呈の対象年齢見直しと、ニーズに合わせて選べるカタログギフトへの切り替え

高齢者をはじめ、 住民を取り巻く課題に 地域とともに支援

予算額 **2660万円**

現在、高齢者の総合相談窓口として市内の9か所に配置する地域包括支援センターでは、自治会や民生児童委員などの地域の関係機関と連携しながら、様々な課題に対応しています。

令和5年度からは、年齢を問わず、地域の皆さんが抱える病気や介護、子育て、仕事や経済的な事情など様々な困りごとを包括的に受け止め、支援につなげる、一人ひとりに寄り添う窓口として活動を拡大します。

関連事業 ▶ 6ページ

地域包括支援センターの拡充



- 地域包括支援センター“よりよい窓口”の専門職員が年齢や属性を問わず地域住民の相談を受け止め、必要な支援につなぐ体制を構築
- オンライン相談窓口の開設

産業・雇用

地域経済を支える産業の振興と働く意欲を支援



市内企業の投資を支援

予算額 **1億1169万円**

コロナ禍の影響で先送りされていた投資が全国的に再開傾向にあり、脱炭素やデジタル化が加速し、EVや半導体関連を中心に企業の設備投資が増加しています。令和3年度の長田野工業団地の製造出荷額は過去最高を記録しています。

市内既存企業の工場などの新設、増設、建替えや雇用増加を支援し、企業の生産性向上を図ります。

中小企業の人材確保を支援

予算額 **60万円**

従業員への奨学金返済負担軽減支援制度を設け、京都府北部の高等教育機関（福知山公立大学、舞鶴工業高等専門学校）の卒業生を採用した市内中小企業などに、従業員に支給された手当などの一部を助成し、市内就職の促進を図ります。

新たな価値創造の担い手を育成

予算額 **1210万円**

新たな産業を創造する先進的な企業の集積をめざし、令和3年度から実施している「NEXT産業創造プログラム」では、引き続き起業や企業内起業に挑戦する人を支援します。令和5年度からは、多くの企業や起業家などが加盟する東京都渋谷区の共創施設「SHIBUYA QWS」^{シブヤキューズ}と連携し、都市部とのネットワークを生かしたスタートアップの創出を図ります。

障害者雇用1000人のために

予算額 **413万円**

障害のある人が就労の機会を得て、自立した生活を送れるよう、行政と企業、関係機関が連携し、企業向けのセミナーや障害福祉サービス事業所の工賃向上など、障害のある人の雇用促進と定着支援に取り組めます。

自らの心と体を守る教育

予算額 **40万円**

学校などでのいじめやネットトラブルなどから子どもたちを守るための取り組みのなかで、新たに子どもたち自身がいじめや虐待、暴力などから自らを守るための教育プログラムを、民間団体と連携して実施します。

国際交流で多文化共生社会へ

予算額 **173万円**

市内の在留外国人の人数は、令和4年12月末時点で1,143人、国籍も32か国にわたります。言語や生活習慣の違いを理解し尊重し合う多文化共生社会の実現をめざし、NPOと連携して国際交流イベントなどを開催します。

地域の支え合いの基盤づくり

予算額 **2156万円**

9つの地域包括支援センターに地域支援コーディネーターを配置し、地域の支え合いの仕組みづくり、地域資源の開発などに取り組めます。従来から地域の福祉活動団体と関係が深い市社会福祉協議会に委託することで、地域の実情に応じた展開をめざします。

提案型公共サービス 民営化制度採択事業

市民団体などの皆さんから応募があり、採択した提案を事業化します。
地域共生社会の実現に向け、ともに取り組んでいきます。

子どもたちの成長を育む多様な学びの充実

教育・学び

植物繊維由来の給食食器で、給食からSDGsを学ぶ機会に



左) 福知山産木材を使って製作された給食食器

植物繊維素材給食食器導入 予算額 **9121万円**
学校給食管理の運営 予算額 **5億6755万円**

更新時期を迎えている学校給食用食器を、従前の石油由来のものから、福知山市産の間伐材で作った植物繊維素材のものへ更新します。食器から環境や地元産木材への興味・関心を持つきっかけとして活用します。

また、これまで各学校で管理してきた給食費を令和5年度から市の会計に組み入れ、直接管理します。これにより、今まで以上に安定的に学校給食の提供ができ、教職員の事務負担の軽減にもつながります。

小学校の水泳指導の委託で命を守る「泳ぐ力」を養う

予算額 **1796万円**

天候に左右されず安心安全な水泳授業を実施できるよう、新温水プールで専門指導員による水泳授業を、令和5年度は6校で実施します。令和6年度には専門指導員の派遣も含め全校で実施予定です。

中学生の海外短期留学でグローバルな人材を育成

予算額 **1582万円**

市内の中学2年生にカナダへ10日間の海外短期留学の機会を提供し、国際交流を通して、広い視野と国際感覚を持ったグローバルな人材の育成につなげます。



脱炭素、再生可能エネルギー、ごみ減量、森林保全

次の世代のために、 環境を守り、つなげる



脱炭素化を進め、環境・ 経済・社会の好循環を創出

予算額 **1603万円**

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロの「ゼロカーボンシティ」をめざし、再生可能エネルギー100%由来の電力への切り替えや、太陽光などを利用したエネルギーの地産地消を推進し、持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

- 太陽光発電設備と蓄電設備を同時設置する住宅への補助
- 民間事業者が公共施設に太陽光発電などの設備を設置・管理し、発電された電力を市が購入するPPA方式を積極的に導入

夜久野・大江エリアを中心に 豊かな森林資源の保全・活用

予算額 **1435万円**

丹波漆など、夜久野地域の豊かな森林資源や歴史を生かし、人と森づくりを結び付け関係人口を創出する取り組みを始めます。また、大江地域でも昨年度に引き続き、木育と環境教育とが一体となった本市独自の「トレイルラン教室」を実施し、地域振興と環境保全につながるサイクル構築をめざします。

環境にやさしい ごみ処理のあり方を検討

予算額 **563万円**

ライフスタイルの変化などにより、市民ひとり一日あたりのごみ排出量は増加傾向にあります。ごみ排出量削減のため、環境に配慮したごみ処理の仕組みづくりを検討・実施するとともに、啓発活動を行い、ごみの減量をめざします。

- 容器包装以外のプラスチックごみの再商品化に向けた検討
- 市民や事業者と連携し、ごみの減量・資源化モデルとなる取り組みを検討・実施
- 環境学習教材を作成し、啓発を実施

福知山ならではの 循環型森林整備を確立へ

予算額 **1470万円**

全国的に伐採の時期を迎えた人工林の更新が課題とされている中で、昨年度、モデル的に夜久野地域において、地域と協働して循環型森林整備を実施しました。そこで見いだした課題を踏まえ、令和5年度はモデル地区を追加し、先進地の専門家からのアドバイスを受けながら、福知山ならではの循環型森林整備モデルの確立をめざします。

オンライン申請手続き、キャッシュレス決済

ICTでつながる スマートな暮らし



ふくぽでキャッシュレス決済 2%のポイント還元を実施

予算額 **3444万円**

市内300店以上で利用できる福知山市独自のキャッシュレス決済アプリ「ふくぽ」で買い物をすると、購入金額の2%がポイント還元されるサービスを開始し、引き続き地域内での消費拡大とスマート社会の実現をめざします。

また、オリジナルアプリ「福知山KENPOS」との連携を継続し、市民の健康活動の推進にもつなげます。



AI・ICTを活用した スマート農業支援や販売促進

予算額 **1090万円**

限られた労働力でも効率的に農業経営を維持・拡大できるよう、先端技術を活用したスマート農業機械を導入する生産者を支援します。また、やくの高原市で実証実験中の、SNSなどを活用した農産物販売促進の実証実験を引き続き実施します。

庁舎窓口のICT化を進め、 行かない・書かない窓口へ

予算額 **741万円**

「スマートシティふくちやま推進計画」に基づき、市民アンケートでも多くの意見があった窓口での手続きのオンライン化を進めていきます。デジタルツールを活用し、市役所へ来なくても申請やサービスが受けられる取り組みを複数の部署で開始します。

- マイナンバーカードを活用したオンライン申請や決済を実現
- マイナンバーカードを活用し、あらかじめ登録されている氏名、住所などの情報が記載された申請書類の作成を実現
- 地域包括支援センター職員が相談者宅を訪問する際、タブレット端末を使ってリモートでも直接相談ができるWeb相談システムを導入



実証実験中のやくの高原市

福知山の多様な魅力を発信し、 関係人口の輪を拡大



令和5年
8月
OPEN
予定



福知山鉄道館 フクレルが開館 鉄道のまちの歴史を発信

予算額 **2230万円**

運転シミュレーターやジオラマ展示など「鉄道のまち」の歴史を伝えつつ、様々な世代が楽しめるコンテンツを備えた鉄道館を開館し、まちの魅力発信につなげます。

移住希望者への丁寧な支援で 移住・定住を促進

予算額 **4992万円**

コロナ禍を契機に地方移住への関心が高まり、令和3年度の本市への空き家情報バンクを通じて移住した人は過去最多の21世帯71人でした。今後も移住希望者への情報発信や支援、空き家情報バンクを通じて成約した物件の改修補助などを行い、地域振興を図ります。

ふるさと納税やファンクラブで 福知山サポーターの輪を拡大

予算額 **6億2062万円**

令和3年度に過去最高の3.17億円の寄附金を集めたふるさと納税では、返礼品事業者と新規返礼品の創出や事業者の魅力を発信し、さらなる寄附と関係人口の拡大とともに、事業者の販路拡大支援に取り組みます。



福知山市動物園

福知山市動物園を改修 アクセス道路も整備

予算額 **3500万円**

開園44年を迎え、年間約6.5万人が訪れる福知山市動物園では、利用者の要望を受け、授乳室を併設したトイレや、休憩室の整備を行います。また動物園へのアクセス道路を整備し、より親しみやすい動物園をめざします。



市内外に福知山ファンをつくり 地域への誇りを醸成

予算額 **3800万円**

市民のまちづくりへの挑戦心「光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動や、大江山をはじめとする鬼の伝説にちなんだ地域ブランドを育成するためのPR活動を引き続き推進し、地域への誇りを持てるまちづくりをめざします。

安心・安全を支える、 私たちのまちの基盤を整備



大江町河守から公庄地区の 内水対策を完了へ

予算額 **1億3165万円**

由良川流域の内水対策のモデル地区である大江町河守から公庄地区では、令和2年度から内水対策の整備を進めています。令和5年度は、救急排水ポンプ施設2基の設置や公手川の改修を実施します。合計3基の排水ポンプで1秒間に合計3トンの排水が可能となります。



排水ポンプ施設の整備状況

下六人部地区の浸水被害対策

予算額 **1億4180万円**

平成26年8月豪雨をはじめ、台風や豪雨で家屋の浸水が発生した下六人部地区で、浸水被害の軽減を図るため、道路排水施設、農業用ため池、下水道施設などの改良を引き続き進めます。



堤体を補強する長田中池

大規模災害時に備え マンホールトイレを整備

予算額 **2681万円**

災害発生時にマンホールを利用して快適に使用できるトイレ環境の整備を進めます。令和5年度は三段池公園、日新地域公民館に整備します。その後も公共下水道エリア内の指定避難所での整備を進めていきます。

5地域公民館の整備・改修を 令和8年度まで順次実施

予算額 **8億3015万円**

太陽光発電や蓄電システムを備えた桃映地域公民館の新築工事を行います（令和6年度完成予定）。また、老朽化が進んでいる日新・六人部の2地域公民館を、地域包括支援センターや避難施設などの機能を備えた形で大規模改修工事を行います。今後、川口・成和地域公民館も令和8年度までに順次改修を進めていきます。

つつじが丘・向野団地など 老朽化した市営住宅の統合建替

予算額 **14億607万円**

耐用年数を超過し、老朽化している市営住宅つつじが丘団地、向野団地の統合建替工事を進めます。また、統合建替により生まれる空間に、人権尊重と福祉のまちづくり推進の拠点施設を整備します。その他の老朽化した市営住宅についても順次、統合建替に着手します。



令和6年
4月
OPEN
予定

三和荘

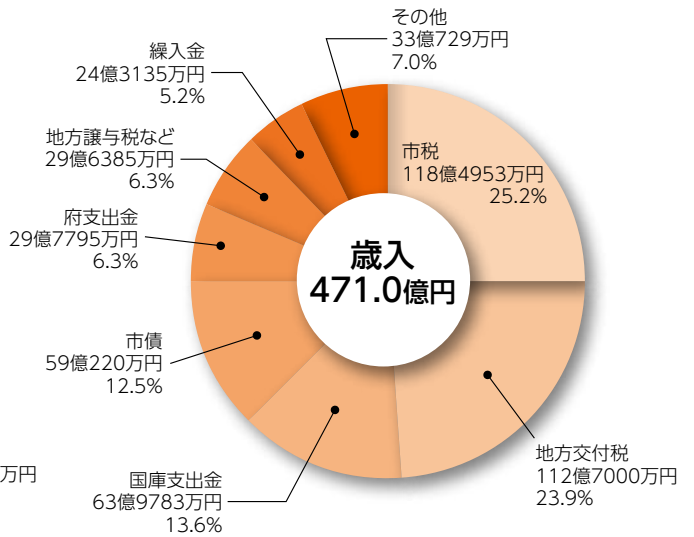
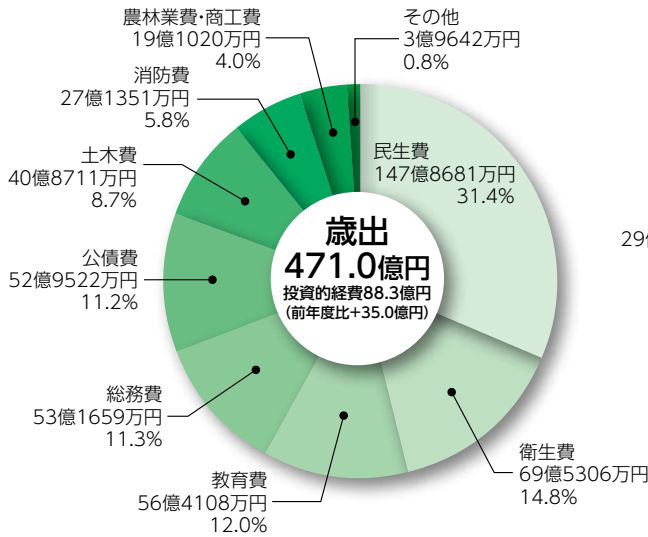
三和荘を地域交流の拠点として リニューアル整備

予算額 **4億9907万円**

三和荘に地域公民館や地域協議会、アネックス京都三和連携室などの機能を設置し、地域のみなさんやアネックス京都三和の立地企業などがより利用しやすい施設にするため大規模改修を行います。

幸せを生きる まち・暮らし 実現への飛躍予算 あらゆる分野に積極的に予算配分

令和5年度
当初予算概要



一般会計は2年連続で過去最大の471億円

令和5年度の当初予算は、前年度からスタートした本市のまちづくりの基本的な指針「まちづくり構想 福知山」の取り組みを本格的に推進し、子育て・教育・福祉・環境・産業などあらゆる分野に積極的に予算を配分し、一般会計で過去最大となる471億円を計上しました。前年度から39億円の大幅増となっていますが、これは地域公民館の大規模改修や市営住宅の建替えなどの投資的経費を多く盛り込んだこと、学校給食費の公会計化や光熱費の高騰などによるものです。

特別会計では、介護保険事業、後期高齢者医療事業で合計0.7億円増加した一方、農業集落排水施設事業が下水道事業会計に経営統合されたことにより総額は前年から12.1億円減の184.3億円となりました。

企業会計では、水道事業5.1億円減、下水道事業24.3億円増、病院事業24.7億円増など総額43.9億円増加し、全体で340.2億円となりました。

全会計の総額は、70.8億円増となり、当初予算では過去最大の995.5億円となりました。

◇当初予算の全体像

会計	令和5年度	令和4年度	前年度比
一般会計	471.0億円	432.0億円	+9.0%
特別会計	184.3億円	196.4億円	△6.2%
企業会計	340.2億円	296.3億円	+14.8%
全会計総額	995.5億円	924.7億円	+7.7%

全基金残高は15.7億円減の87.7億円 光熱費高騰分に財政調整基金を取崩し

必要な投資を厳選しつつ、財源として国府の補助金などや、交付税措置のある有利な市債を活用する一方、光熱費の高騰分に対しては財政調整基金を3.6億円取り崩し、財源対策として合併算定替通減対策基金を3.8億円取り崩し、収支の均衡を図っています。年度末の全基金残高は、87.7億円の見込みです。

市債残高は前年度に比べ増加の見込み

全会計の年度末の実質的な市債残高は約395.9億円で、前年度から約9.6億円増加の見込みです。市民一人あたりでは、1.3万円増加の52.1万円となります。

持続可能な財政運営のための 市有財産の積極的活用やふるさと納税で 財源を確保

持続可能な財政運営を進めていくため、歳入面では、公共施設マネジメントで創出される土地の収益などに加え、公社継承土地の収益も含めて公共施設等総合管理基金に着実に積み立て、将来の公共施設にかかる様々な需要に備えます。また、ふるさと納税の推進、ネーミングライツなどの広告料収入など、様々な財源確保策にも積極的に取り組めます。

〒620-8501 京都府福知山市宇内記13番地の1
TEL:0773-22-6111(代表) FAX:0773-23-6537

発行/福知山市 編集/秘書広報課広報係
Eメール hisyo@city.fukuchiyama.lg.jp
※「広報ふくちやま」の表記は、新聞表記基準に準じています